

「令和3年度下水道管路管理技術に関する新技術の公募」の選考結果について

令和3年6月8日

(公社)日本下水道管路管理業協会

この度、「令和3年度下水道管路管理技術に関する新技術の公募」(公募期間：令和2年12月15日から令和3年3月31日)にて提案された新技術について、令和3年度第1回技術委員会(令和3年5月25日開催)において審査を行った結果、次の技術が採択されましたので、以下のとおりお知らせします。

今後、採択された技術に対しては、実用化のために必要な試験場所の確保・斡旋、現場試験費用の一部負担、アドバイス等を行います。

技術名	首振り式押し込みカメラによる圧送管路内調査技術の確立
提案者	株式会社カンツール
概要	圧送管路で腐食が多い空気弁周辺の気相部等に首振り式押し込みカメラを活用する事で、調査作業の容易性、日進量の向上及び標準作業費等が算定可能となり、計画的・効率的な維持管理業務を拡大させる事ができる。 

技術名	遠隔操作における管内カメラ検査システムの技術
提案者	株式会社カンツール
概要	遠隔操作による無人化施工を管内検査カメラロビオンに実装し、業務の無人化による効率化や、少ない人数でも円滑に業務を遂行できる生産性の向上を行うことができる。 